



おもしろい
大学

富山大学
University of Toyama

2027
芸術文化学部
School of Art & Design
学部案内

芸術文化学科

- ・美術領域
- ・工芸領域
- ・デザイン領域
- ・建築領域
- ・キュレーション領域
- ・複合領域

伝統を疑え。

NEXT VISION JAPAN

芸術文化を社会に展開することで、
地域が抱える課題を解決し、
伝統的な文化から
次の世代にふさわしい
価値を創出する。

芸術文化学部



芸術は「魅力づくり」の原動力。

古来より「芸術」が担ってきた役割は、
「人間らしさのあり方を提示する」ことでした。
だからこそ、芸術がもつ「美意識」や「独特な発想」は、
企業活動から地域づくりまで、社会のあらゆる場面において
それぞれの質を高め、魅力を創り出す原動力になってきました。
しかし、近年のICTの発展に端を発する急激な産業革新と社会の変容は、
日々の生活のみならず、生きる価値についてまで、
人々にあらたな順応を求めています。
ならば、これから求められる芸術の役割は、
「次の世代にふさわしい、魅力ある人間らしさの提示」です。
その担い手となるのが、芸術なのです。

世界に発信すべき地方の文化。

地方の駅前では空き店舗が目立ち、
伝統産業では、後継者不足による衰退が深刻な問題になり、
まちの人々は永きに渡る祭事の継承に悪戦苦闘しています。
伝統的な産業や文化と、情報化された現代社会との交差点で生まれる
切実な課題が地方にはいくつもあります。
そんな地方の現実を教材として捉え、
モノだけでなく体験に価値を求めるコト、
それらが総合的に展開されて生まれる「文化」を、
地域のみなさんと共に考え、世界へ発信していきたいと考えています。
日本が世界に向けて発信すべきは文化なのです。

富山をキャンパスに地域と連携した

『実践教育』

芸術文化学部がある富山県には3千メートル級の山々が連なる雄大な立山連峰や、ユネスコの世界文化遺産に認定された五箇山合掌造り集落、無形文化遺産に認定された4件の「山・鉾・屋台行事」があります。また高岡市には、江戸時代以来の鋳物や漆器等の伝統産業や、国宝瑞龍寺、国宝勝興寺、重要伝統的建造物群保存地区に選定された3箇所の古い町並みなどの文化資源があります。これらの恵まれた環境を活かし、地域をキャンパスとした『実践教育』を行っています。20年余り前から全国の大学に先駆けて取り組みを開始し、継続する中で、行政や企業、自治体などと組織的な連携体制を確立しています。実践教育は、教科書から学ぶことが難しい経験的知識や技術を身につける上で効果的であると共に、目標を達成する責任感や、自ら考えて行動していく主体性を養うことができます。

「地域連携授業」と 「プロジェクト授業」

地域の現実的な課題をテーマとし、地域の作家、職人、デザイナー等から指導を受ける授業や、関係者と協力して進める授業を「地域連携授業」としています。また、特定の課題を挙げて、問題発見及び解決までの過程、手法を実践的に学ぶ授業を「プロジェクト授業」として、共に実践的な学修機会として取り組んでいます。

学生の作品発表拠点 「芸文ギャラリー*」

高岡市中心市街地にある「芸文ギャラリー」は、授業成果や学生の自主制作を発表する場です。例えばある卒業研究・制作チームは、第三者からの反応を作品に活かすために中間報告展を毎年開催しています。また、学生サークルの自主企画展では、作品制作からパッケージデザイン、値付けや商品管理、接客までを学生が自力で運営します。

公立美術館の企画展示室で 開催される卒業展

芸術文化学部および大学院の「卒業・修了研究制作展」は、地域の関係者と実行委員会を組織し、高岡市美術館の企画展示室を使って開催しています。卒業生と修了生は、公立美術館での展示を充実した内容にすべく、展示方法にも力を注いでいます。在学生も広報やイベント活動を分担して創り上げています。

もっと!!

芸文WEB「実践教育」



芸術文化学部では誌面で紹介している他、数多くの『実践教育』を行っています。ぜひ芸文のWEBサイトでご確認ください。

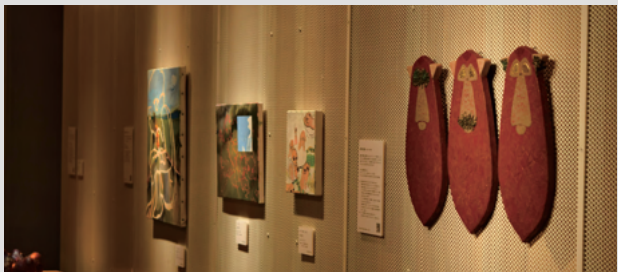
プロジェクト授業：高岡クラフト市場街

毎年、秋頃に開催されるクラフトに関する総合イベントに企画段階から参加し、イベントコンテンツを盛り上げます。



芸文ギャラリー* 授業成果や学生の自主制作の展示を行っています。

当時学部3年生の佐伯采音さんによる個展。(写真右)、沖和宏ゼミの学生による、卒業研究・制作の中間口頭発表の様子(写真左上)、芸文卒業生も多数参加したグループ展「高岡で澄む」の展覧会の様子(写真左下)



卒業・修了研究制作展

高岡市美術館の企画展示室と高岡キャンパスの展示エリアを使い、2会場で一般公開しています。



『融合教育』

何かを創りだしていくためには、異なる考えを持った人と交流し、領域を横断して知識や技術を学び、それらを組み替えることが効果的です。芸術文化学部では、多様な素養の学生が集い、共に学び、お互いの考えを理解する中で、創造性が発揮できるよう次のような工夫を行います。

- 実技検査(鉛筆デッサン)と小論文を選択できる入学試験
- 学生個人の適性や志望に応じて自在な履修の組み合わせが可能なカリキュラム
- 学生の履修計画や進路志望を気軽に相談できる学年指導教員制度と、メンター教員制度によるサポート体制
- アクティブラーニング(グループ討論等をふくむ能動的授業)やPBL(問題解決型授業)を取り入れた「地域連携授業」と「プロジェクト授業」
- 学部の全教員を対象に卒業研究・制作の指導教員を決定していく制度

それらを総合して実施しているのが芸術文化学部の『融合教育』です。

もっと!!

芸術WEB「融合教育」



オープンコース方式の導入

2022年度から、従来のコース所属制度を廃止し、オープンコース方式を実施しています。学生は自分の適性や志望の変化に応じて、すべての領域の授業を履修することができます(受講環境により、一部の科目で履修制限を設ける場合があります)。この学部で学べる芸術と文化に関する6つの専門領域に対して、入学時から進路が明確な学生は、その志望に必要な学修を突き詰めることができます。また自分の志望が不明瞭な学生は、6領域の専門科目を自在に履修しながら、入学から3年次の間で、じっくりと進路を見つけ出していくこともできます。

異なる素養の学生が共に学ぶ環境

芸術系の大学はデッサンなどの実技ができなければ入学できないと思われていますが、芸術文化学部では、小論文でも受験できます。「デッサンは描いたことがないけどクリエイティブな仕事がしたい」など様々な希望をもった学生と一緒に学ぶことで、多様性のある学修環境がつくられています。

五福キャンパスで他学部生と学び、交流する1年次

富山大学では教養教育の一元化を実施。1年次は富山市内の五福キャンパスで、他学部生と共に教養教育科目を学びます。また1年次の芸術文化学部の専門教育科目も五福キャンパスで開講します。

教員の数だけ専門性があり、学生の数だけ進む道がある

オープンコース方式による自在な履修と、自分の適性に呼応した教員との出会いの中で、4年次に取り組む「卒業研究・制作」のテーマが決まっていきます。指導教員の決定は学生の希望が優先されます。希望は芸術文化学部のすべての教員が対象となります。

実社会のさまざまな活躍現場へ

大学院（人文社会芸術総合研究科）

つくり手

創造的活動を通して
社会に豊かさを供給できる人材

つかい手

既存のもの、こと、
空間を使いこなせる人材

つなぎ手

様々な要素をつなげて、
あらたな価値を創造できる人材

芸術的思考や技能、マネジメント力を文化創出に活かす人材

●さらに高度な専門へ

●学士（芸術文化学）取得

●多様な選択肢

全領域の教員から指導教員
を希望可能。最終的な修学の
まとめと進路を助言します。

●地域連携授業

●プロジェクト授業

アクティブラーニング
PBL（問題解決型授業）

●オープンコース方式

コース所属を廃することで履修
制限を自由にし、学生1人ひと
りの適性や興味に応じて、自分
に必要な専門科目を自在に選
択できる履修方式です。
入学から3年次までの期間をか
けて、自分に適する専門性や進
路を絞り込んでいきます。

●領域横断型の科目群

1年次には、各専門領域に共通
して必要となる基幹的な専門教
育科目を学修し、2年次以降の
専門性の高まる修学に備えます。

●他学部生との交流

●異なる素養の学生

卒業研究・制作

すべての学部教員の中から指導教員を決定します

専門教育科目

主要な各領域に特化した専門科目を自在に履修

美術領域

工芸領域

デザイン領域

建築領域

キュレーション領域

複合領域

P.09
-10

P.11
-12

P.13
-15,
20

P.16
-17,
20

P.18
-20

P.21

専門教育科目

主要な専門領域に共通して必要となる基幹的な科目を履修

教養教育

芸術文化学部

人文学部

教育学部

経済学部

理学部

工学部

医学部

薬学部

都市デザイン学部

4年次

3年次

2年次

1年次

●修学のまとめ

●指導教員決定

●メンター教員制度（各年次ごとに芸文の教員が、学生個々の各種相談に助言を行います）

●特化した専門性を探求する学修段階

●各学年指導教員制度（各年次ごとに芸文の教員が、学生個々の履修計画のサポートを担当します）

●基幹的な学修段階

高岡キャンパスでの受講

五福キャンパスでの受講

入学試験では、実技検査（鉛筆デッサン）と小論文から選択

実技検査（鉛筆デッサン）

小論文

この他に学校推薦型選抜では面接、一般選抜では大学入学共通テストを課します

○入試についてはP.06-07をご覧ください

入試は

『実技か小論文を選ぶ』

あなたは技能系？ 論理系？

得意な「募集区分単位」での選抜です

芸術文化学部では、2つの募集区分単位で入学者選抜を行います。右表のとおり、実技検査（鉛筆デッサン）または小論文のいずれかを選んで受験できます。実技が得意な人も、文章で考えを伝えるのが得意な人も、自分の強みを生かして受験し、入学後は同じ教育環境で学びます。

それぞれの強みをもつ学生がひとつのキャンパスに集まり、オープンコース方式のカリキュラムのもと、横断的に学び合い、互いに刺激し合います。

こうした日々の学びを重ねる中で、3～4年後には学生個々の研究・制作テーマが多様化し、進路の選択肢も大きく広がります。

この入試制度は本学における最初の「融合」です。

富山大学・入試情報 <https://www.u-toyama.ac.jp/admission/>



富山大学・入試情報・過去問題 https://www.u-toyama.ac.jp/admission/undergraduate-exam/past_exams/



学校推薦型選抜、総合型選抜(帰国生徒選抜・社会人選抜) 大学入学共通テストは課しません

区分	募集区分a	募集区分b
選抜方法	実技検査 [100 点] (鉛筆デッサン) [3 時間 (180 分)] 面接 [100 点]	小論文 [100 点] 面接 [100 点]
募集人員	20名 ※総合型選抜の定員は若干名	15名 ※総合型選抜の定員は若干名

一般選抜／前期日程 私費外国人留学生選抜については、入学者選抜要項を確認ください

区分	募集区分a	募集区分b
選抜方法	大学入学共通テスト [500 点] (3 教科 3 科目) 実技検査 [500 点] (鉛筆デッサン) [3 時間 (180 分)]	大学入学共通テスト [800 点] (5 教科 6 科目又は 6 教科 6 科目) 小論文 [200 点]
募集人員	25名	30名

一般選抜／後期日程

区分	募集区分a	募集区分b
選抜方法	大学入学共通テスト [400 点] (2 教科 2 科目) 実技検査 [400 点] (鉛筆デッサン) [3 時間 (180 分)]	大学入学共通テスト [600 点] (3 教科 3 科目又は 2 教科 3 科目) 小論文 [300 点]
募集人員	10名	10名

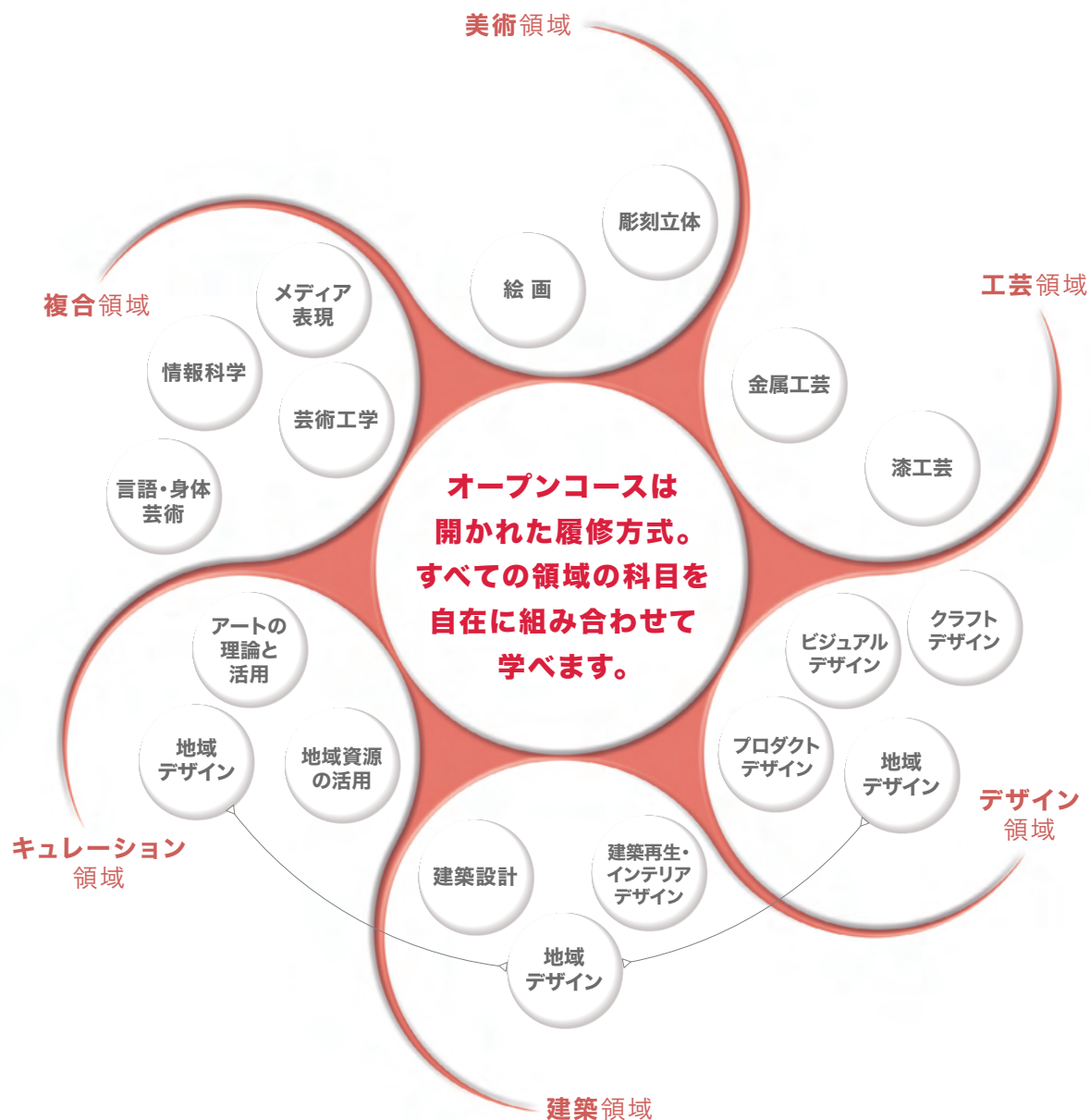
上記は2026年度実施予定の入学者選抜における情報です。[]は配点。

入試の詳細は、7月中旬に公表される入学者選抜要項を確認ください。

突き詰めるもよし、幅広く知るもよし

あなたらしい学び方で、あなたに合った道を見つける。

『芸文で学べること』



取得可能な資格

所定の単位を修得することで取得できる資格

学芸員資格

所定の単位を修得することで受験資格が取得できる資格

一級建築士、二級建築士、木造建築士

芸文の学びと関連が深い資格〈関連科目を学ぶことにより、その資格分野の技術・知識を得ることができる資格〉

1級土木施工管理技士、2級土木施工管理技士、1級建築施工管理技士、2級建築施工管理技士

1級電気工事施工管理技士、2級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士、2級管工事施工管理技士

1級造園施工管理技士、2級造園施工管理技士、1級建設機械施工管理技士、2級建設機械施工管理技士

1級電気通信工事施工管理技士、2級電気通信工事施工管理技士

インテリアプランナー、インテリアコーディネーター、宅地建物取引士、マンション管理士、マンションリフォームコーディネーター
情報処理技術者、カラーコーディネーター、福祉環境コーディネーター、知的財産管理技能士



豊かな視点と観点で 新しいストーリー を生み出す

絵画C 絵画の制作風景

美術領域

絵画

絵画の授業では、日本画、油画専攻の学生が同じアトリエで制作を行います。様々な技法や素材の中から試行し、自らの造形感覚を高めていく中で、独自の芸術表現の確立を目指します。



課外活動 富山マラソンにおける歓迎パネル制作(新高岡駅)



地域連携 作品展示
ほくぎんアートギャラリー

北陸銀行ほくぎんアートギャラリーにて、年間を通して絵画の授業成果作品の展示を行っています。作品を外へと発表する機会でもあり、学生と地域とのつながりの場となっています。



プロジェクト授業 絵画を学ぶ
LIVING ART
in TOYAMA

富山市大山地域で行われているデザイン・アートイベント「LIVING ART in TOYAMA」の企画・運営に携わり、コミュニケーション力や実行力を養います。絵画のスキルを生かして制作した34mの壁画の前は、市民の憩いの場となっています。



専門科目 絵画を学ぶ
絵画に関する基礎知識

油絵具、日本画画材などの画材を用いて基礎的な制作に取り組みます。自画像、植物画、静物画などの制作を通して、様々な画材や表現を試行することで、制作する手順や絵画制作の基礎的な表現技法への理解を深めます。



課外活動 絵画作品
東の光

宮前 夏実

本作品は第92回独立展に入選し、六本木の国立新美術館に展示されました。F100号(162×130cm)の大きな画面全体に繊細な描写を施すとともに、自らのフィルターを通した独自の色彩で表現しています。



思考と手わざで 空間と時間に アプローチする

授業科目「彫刻立体基礎演習」頭蓋骨模刻の制作風景

美術領域

彫刻立体

彫刻は単に立体的な形を作るというだけの分野ではありません。空間を彫り、時間を刻む、様々な試みが過去から多くの彫刻家によって実践されてきました。造形スキルのみならず、理論や歴史文化についての理解を深め、「考え方」に重点を置き、手わざとともにそれを深化させることを目指します。

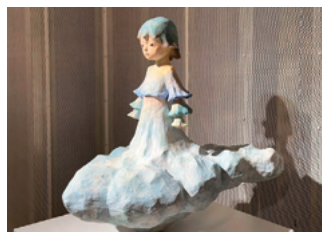


卒業制作「日は好日」／米本梨沙(2024年度卒業)



専門科目 造形技法を学ぶ
立体造形に関する実習

塑造を扱う実習授業では、彫刻・立体造形を行う上で必要となる芯棒の作り方や粘土の扱いなど、基礎から応用技法までを各自の制作計画にあわせ、授業の中で個別に相談しながら実践の中で身に付けていきます。



専門科目 表現を広げる
現代アートを学ぶ実習

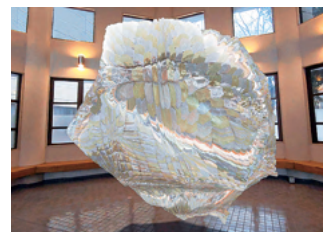
竹内唯芽／授業作品

現代アート表現を学ぶ授業では、近代以降～ポストモダンまでを振り返りながら、自身が作品を作る上で重要となる「拠り所」を抽出することで作品コンセプトを明確化し、作品表現へと展開します。



専門科目 場との関わりを考える
インスタレーション実習

空間との関わりをテーマにインスタレーション作品の制作を行います。学生それぞれが学内のいたる場所を展示場所とし、場との関わりや現況の考察をテーマとした作品を空間と共に生み出します。



専門科目 デジタル×彫刻
3Dデジタル技術の活用

早川結都(2024年度卒業)

彫刻立体分野では作品制作への3Dデジタル技術の積極的な活用に取り組んでいます。3Dスキャニング、3Dモデリング、3Dプリンティングにより、従来の彫刻制作で実現し得なかった表現を可能にします。

金工で 新世代の暮らしを 創造する

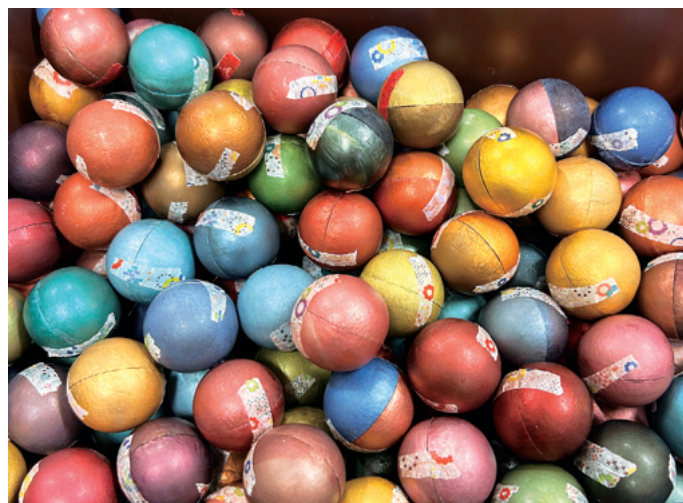


卒業制作「経年」／池口 歩(2024年度卒業)

工芸領域

金属工芸

金属工芸領域では、鑄金や鍛金を中心にした金工伝統技法の修得を基盤として、先人の残した成果に学び、造形作品や工芸品、クラフト、ジュエリーなどの発案から実制作に取り組み、金属素材を活かした新世代の暮らしを提案できる製造技術者、デザイナー、工芸家などの人材を育成します。

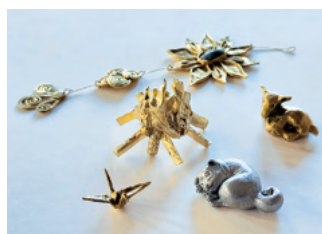


卒業制作「ガムボール」／工藤 陽菜(2025年度卒業)



専門科目 金工を学ぶ
金工の基礎演習

鑄金、彫金、鍛金という3つの金工技法の基本を学びます。アルミニウムを用いた自由な造形物の制作や、925silver、真鍮を用いた指輪制作を通して、金属を溶かし型に流し込むこと、切断、切削、曲げ、銀口ウ付け、研磨など、様々な金工の基礎技術を学びます。



専門科目 鑄造を学ぶ
蠅型精密鑄造の実習

金属材料を高温に熱して溶かし、鑄型へ流し込んで形をつくる鑄金の技法を学びます。蠅で作った形がそのまま金属となる蠅型精密鑄造技法での作品制作を課題として、鑄造のしくみを学び、鑄物ならではの魅力を活かす力をはぐくみます。



専門科目 鍛金・彫金を学ぶ
鍛金・彫金伝統技法の実習

授業課題「木目金ピアス」
「銅線象嵌コースター」／宮西 希

銀板と銅板を鍛接する木目金(もくめがね)作り、加飾用の塹(たがね)作り、鉄板に銅線を嵌める線象嵌(せんぞうがん)などの伝統技法を学びます。これらを通して、伝統技法を生かした金属製品づくりのための気づきを育てます。



専門科目 鑄金を学ぶ
鑄金伝統技法の実習

授業課題「おおあくび!」／板狩 美歩

鑄金の伝統技法である型鑄造技法でレリーフの小作品を制作します。石膏原型を土や砂、粘土を主原料とした耐熱材料で写し取り、鑄型をつくる技法です。身近な材料を使い鑄物にする先人の知恵と、その可能性を学びます。

確かな
技術に基づく、
豊かな表現



卒業制作「明日への航海」／河合美弘(2023年度卒業)

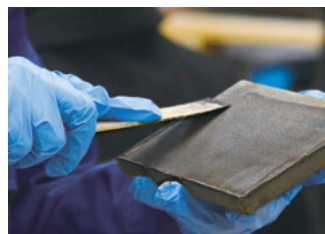
工芸領域

漆工芸

漆(うるし)という自然素材を相手に、
伝統技法を基本として
手で感じ学ぶ事を大切にします。
先端技術にも目を向け、
これからの時代を見据えた表現手段を
身につけます。



卒業制作「透影」／柿原千尋(2023年度卒業)



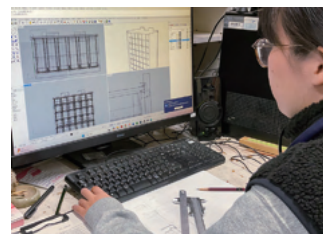
専門科目 漆工芸の基礎技術を学ぶ
漆塗装



専門科目 漆工芸の加飾を学ぶ
蒔絵



専門科目 漆工芸の基礎技術を学ぶ
漆工素地(乾漆)



データ活用例 現代の技術を学ぶ
3D・CADを用いた加工

漆工芸の基本技術である漆塗装の基礎を学ぶ授業です。漆工用具の仕立てから使い方、布着せ、下地、研磨、上塗り、呂色磨き等を、実習を通して学びます。漆とじかに触れ合う事で、表現の土壌を作ります。

研ぎ出し蒔絵、平蒔絵それぞれの技法、特徴を他素材との併用も視野に入れ学びます。下絵(線画)の作成と同時に素材の特性理解、基本的技術の習得を蒔絵の表現力向上へと繋げていきます。道具の構造、粉筒や針木砥などの道具づくりも学びます。

漆と麻布を使い器物を作る乾漆技法の基礎を学ぶ授業です。漆の造形材料としての特質を理解し、粘土での原型づくりから、石膏型、型の整形を学び、漆と米糊を合わせたノリで麻布を型に貼り合わせた後に脱型し器を作ります。

漆工芸では伝統技法をしっかりと学ぶ事を基礎としますが、3Dデータを駆使し、治具や作品原型などの制作にレーザーカッター、3Dプリンター、NC切削機等、先端技術まで幅広く学びさらなる技術、表現の獲得を目指します。



感
触
を
頼
り
に

豊
か
な
生
活
を

提
案
す
る

デザインプロジェクトB(クラフトデザイン)／課題「ホームユースアイテム」／「木工削り旋盤」を用いた加工実習風景

デザイン領域

クラフトデザイン

充実した設備環境＋感触のものづくりからは、
実感のある気づきと発見が生まれます。
人の生活がみえる、つくりながら考えるデザインに
取り組み、ものづくり領域のデザイン専門職に
つながる教育を行なっています。



授業成果展の様子：Meets GEIBUN(三井アウトレットパーク北陸小矢部)



専門科目 紙の照明をつくる
素材を知る基礎演習(紙)

美術表現B(紙の照明課題)

実際に手を動かし、素材(紙)や現象
(光や陰影)と向き合いながら、紙の質
感、表情、造形性、透過性、等々、紙素
材のあらゆる特徴を体感し発見したこ
とを元に、オリジナルな紙の照明へ展
開します。



専門科目 木のおもちゃをつくる
素材を知る基礎演習(木材)

デザイン基礎(クラフトデザイン実習)

木工の基礎的な加工技術を習得する
とともに、木材の材料特性について理
解を深めます。また、素材と向き合い、
与えられた条件の中でアイデアを具体
化するデザインプロセスについて学び
ます。



地域連携 新しい遊具の提案
クラフト製品開発の実践

デザインプロジェクトB(クラフトデザイン)

より実践的な授業を展開するため、外
部(企業、行政、各種団体)に協力を仰
ぎ、実践教育の密度の高い地域連携型
の授業として設定しています。富山の木
製品製造メーカーと連携し、新しい遊
具の開発に取り組みます。



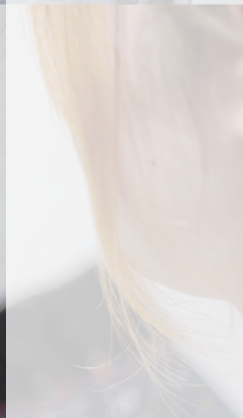
卒業研究・制作 家具デザイン
恩返し家具

小林萌(2024年度卒業)

私にものづくりのおもしろさを教えてく
れた大切な家族に恩返しをしたいと思
い、地元長野県で育ったカラマツを使
用して家族に贈るためのデスクとス
ツールを制作しました。経年変化で赤
茶色に変化するカラマツの風合いも楽
しみのひとつです。



人に愛される
モノを
生み出す



デザイン展開(プロダクトデザイン実習)／金襴生地を使用した、心を“ととのえる”ライフスタイルプロダクト／提案作品(一部)

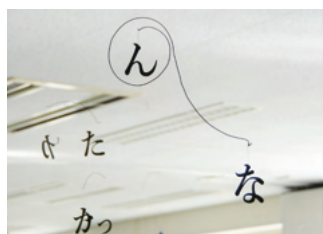
デザイン領域

プロダクトデザイン

人の未来を提案するカーデザインや生活家電、
感覚を揺さぶる生活雑貨や
エンターテインメント系デザインに取り組み、
大手メーカーの専門職につながる
教育を実践しています。



展示会場でアテンドする学生: Meets GEIBUN(三井アウトレットパーク北陸小矢部)



専門科目 製品デザインの基礎
富山弁モビール「な〜ん」

デザイン基礎(プロダクトデザイン演習)

「言葉は空中を伝わります。その様子をモビールに落とし込みました。」
デザイン基礎力の向上を目的に、デザイン力、制力作、社会的評価までを含めた総合的なプロダクトデザインを学びます。「富山らしさ」のあるモビールがデザイン課題。



地域連携 製品デザインの実践
en -「縁」をつつむ-

デザイン展開(プロダクトデザイン実習)

「相手からいただいた名刺を、丁寧な所作で金襴生地に取り込む。」
富山県内の企業と連携した密度の高いプロジェクト型授業。連携企業が求めるテーマに対し、芸文のユニークな提案で応えます。



卒業制作 モビリティデザイン
EVE イヴ

吉田陽菜 林原穂高 山田香菜
山上桃 (2021年度卒業)

五感を刺激する超小型モビリティ。実際にEV走行可能なフルサイズの実車プロトタイプを大学内に制作、デジタルデザインを活用した富山大学工学部機械工場との連携を通じ、先進的で高度な卒業デザインプロジェクトとなっています。2022年グッドデザインニューホープ賞受賞



卒業制作 STEAMデザイン
波美 habi

高田梨乃(2024年度卒業)

工学xデザイン(STEAM)の融合から生まれた、弦の振動を可視化したプロダクトです。光ファイバーを用いて波の固有振動波形を空間上に再現することで、光と波形が生み出す動きと美しい空間表現を実現しています。

新鮮な発想力で 最適解を 見つけ出す



ビジュアルデザイン実習での制作が日本パッケージデザイン学生賞を受賞

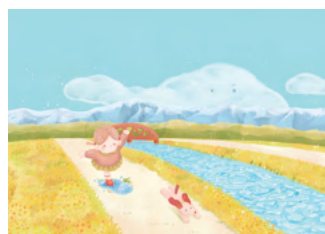
デザイン領域

ビジュアルデザイン

ビジュアルコミュニケーションを通じて、
カスタマーへ発見や気づきを提供する
地域ブランディングやコミュニケーションデザイン、
パッケージなどのデザインに取り組み、
幅広い領域のデザイン専門職に
つながる教育を行なっています。



「富山マラソン2024」完走タロルをデザイン



修了制作 地域のもつ豊かさへの気づき
「おてんばみいちゃんと
まいごのしずくくん」
和久田美紅(2023年度修了)

読み手と受け手のココロをつなぐコミュニケーションとして「読み聞かせ」のシーンに着目、受け手の創造力を育む絵本表現とは何かを研究し、絵本を制作。会話や絵本体験を通して、地域のもつ豊かさへの気づきや、創造力を育むことにつながることを願う。



卒業制作 言葉と紙に向き合うデザイン
「きっと透明、という感触」
佐藤茉奈(2023年度卒業)

透き通っていて美しいとか、クリアで正しいとかではなく、いつか忘れてしまうのだから、言葉にすることでかたちを与えておきたいと思う感触を日々、拾って見つめて生まれた120編の詩集。それぞれに合わせたフォントや文字配置、紙質、印刷加工を施している。



課外活動 GEIBUN 15
卒展メインビジュアル

高岡市美術館の企画展としても開催される卒業・修了研究制作展のポスターやチラシなどについては、当該年度のグラフィックデザインを学ぶ3年次生らで制作されています。GEIBUN15では、卒業生らの研究や制作に向けた想いをメインビジュアルとして表現しました。



プロジェクト授業 高岡クラフト市場街
市場街パスポート

毎年秋頃に高岡市内で開催される「市場街」におけるスタンプ帳。イベントにおいて実際に活用されるグッズを学生が企画。デザインだけではなく学生自らが販売し、社会におけるデザインの役割を実践的に学びます。2018年にはグッドデザイン賞を受賞しています。

近未来の 活動の場を 架構する

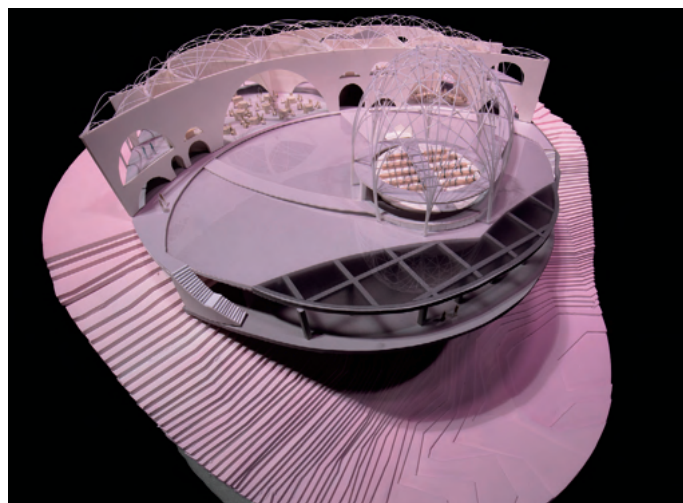


シェルター制作

建築領域

建築設計

理論講義や設計演習、実寸大制作を通して、
芸術と工学、実践と理論の統合プロセスを学修し、
構造・構法と意匠に立脚した空間表現の技法を
習得することで、発想力・設計力や
プレゼンテーション能力を発揮できる専門人材を
育成します。



卒業制作「祝福する建築 ～幸せな記憶の場所～」／水野菜々子(2022年度卒業)



専門科目 建築家の視点で捉える
人と空間の関係を学ぶ



専門科目 シェルターをつくる
実寸建築の体験



専門科目 設計を学ぶ
時間と空間の設計



専門科目 設計を学ぶ
空間デザインの演習

建築家の目で見えた「人が世界を組み立てる方法」を読みといていく講義です。過去には、一枚の布を纏うことが人と世界のあり方を変えてゆくことを講義した後、受講生全員でワンピースを制作し、成果を図書館ファッションショーで発表しました。

スケッチ、模型、図面を作成し、それをもとに実寸大で建築を制作する演習。協働作業を通してチームワークを学ぶとともに、実際の空間を作ること、スケール、素材、強度を体験的に学びます。

これからの建築家には、震災や震災で歴史を消失したまちの新しい風景を、建築をもちいて復興できる能力が必要です。現代の活気と、ニワとマが繰り広げる古の魅惑的な空間によって未来の集合住宅を設計します。

富山市の城址公園の一角に、メディアを納める図書館を設計する3年生の課題です。この修学段階に入ると、多少複雑なプログラムを扱い大胆な建築を設計できるようになります。



風土を感じる 空間をつくる

空間デザインFの授業風景

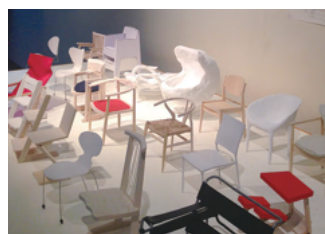
建築領域

建築再生・ インテリアデザイン

自身でデザインした家具の制作や実測調査した伝統的建築や町家の再生計画を詳細に提案することを通して、インテリアデザインや建築再生の現場で活躍できる専門人材を育成します。



氷見の倉庫改修プロジェクト



専門科目 インテリアを学ぶ
椅子と人と空間の関係

名作椅子を実測し、図面・模型をつくれます。それを生かして椅子をデザインし、原寸大で製作します。人間と椅子・空間と椅子・人間と空間の関係について学びます。



専門科目 設計を学ぶ
木質構造を設計する

金屋町に新しい仕事場と住宅を設計する演習。町家の軸組模型を制作し木造を学び、伝統的な構造や技法を理解して、設計に取り組みます。日本近世の建築美学を体現する住宅をつくれます。



専門科目 設計を学ぶ
建物と空間の再生

伝統的な町家の実測を行い、既存の図面を作成し、それをもとに学生シェアハウスを設計する演習です。建築再生の基礎について実践的に学びます。



地域連携 地域のリノベーションを学ぶ
小さなしかりで商店街を変える

小矢部市や氷見市中央町商店街など、空き店舗が目立つ商業エリアをフィールドに、現地調査やヒアリングを行い、特徴や課題を視覚化し、その分析に基づき、店舗や街に具体的な小さなしかりをデザインすることで、商店街を変えていく提案を行います。

地域という 文化資源を 磨き上げる



卒業論文「放生津八幡宮秋季大祭の現状と課題」／槇 玲奈(2023年度卒業)

キュレーション領域

地域資源の活用

地域の伝統文化や地場工芸産業の振興に携わる公務員やNPO職員、文化の継承や観光活動を通じて地域活性化に関わる法人、旅行業等を目指す学生のための教育プログラムです。
地域が育んできた祭礼や伝統産業、風景といった文化的な地域資源の活用について系統的に学びます。



高岡市立博物館の見学



地域連携 高岡水辺マップ
高岡元気発信プロジェクト

高岡市内の水資源に注目し、「高岡水辺マップ」を作成しました。伝統産業の町のイメージが強い高岡に、意外な一面があることを地域の人達と共有したいという思いで、編集に取り組みました。



地域連携 地域応援プロジェクト
能登半島復興支援

能登半島地震の発災以降、現地に定期的に通いながら復興支援を行っています。主に行っているのは輪島塗の支援で、倒壊した家屋から救出した輪島塗の洗浄・整理を行い、所有者にお返ししたり、新しい使い手につないだりしています。



地域連携 地域応援プロジェクト
工芸材料支援プロジェクト

呉西地区の伝統工芸品の原料生産を支援するプロジェクトを実施しています。具体的に、越中福岡の菅笠や五箇山和紙の原材料である「スゲ」や「楮(こうそ)」の生産支援のため、楮の芽掻きや蒸し作業、スゲ刈りやスゲ干しなどを行っています。



卒業論文 調査研究
シナリオアプローチによる
高岡古城公園の将来構想
松浦歩美(2023年度卒業)

高岡古城公園には近世城郭史跡として高い価値がありますが、近年樹木の繁茂によりその価値が損なわれる部分が生じています。本研究では公園内の樹木管理について複数のシナリオを想定し、市民合意を得るための視覚的な将来像を検討しました。

アートと人を繋ぎ アートの 行く先を照らす



博物館実習

キュレーション領域

アートキュレーション

美術館、博物館の学芸員や、芸術活動に関わる公務員、NPOの職員などを目指すための教育プログラムです。西洋、東洋、日本の各美術史等の諸科目に加えて、博物館学、実践的展示活動、文化財活用、アートマネジメント等を学び、専門的職業人としての素養を身につけます。



奈良研修旅行(奈良の寺院を巡り、仏像や建築等について学ぶ)



専門科目 博物館学芸員資格関連
博物館での現地実習

4年生の博物館実習では、美術作品の取り扱い、梱包、調査、展示方法などについて実習します。また夏休みを利用して、学外の博物館・美術館で8日間の実習も行います。これまでの博物館学の学修を総括する実習です。



調査研究 学内収蔵品の企画展示
高岡と日本近代の蠟型鑄造展-大郷コレクション青銅花器と須賀松園工房の蠟原型-

学部が収蔵する工芸作品の調査研究を行い、企画展を開催しています。学生も参加し、皆で作品調査を行い、作品解説執筆や展示作業を実習します。博物館における企画から展示までを体験し、日ごろの学修を深めます。



調査研究 トークイベントの開催
特別講義
「サエボーグとは何者か？」

黒部市美術館開館30周年「サエボーグ ENCHANTED ANIMALS」の関連企画として、美術作家のサエボーグさんによる特別講義を高岡キャンパスで開催。展覧会や作品制作について語っていただくとともに、彫刻領域の教員とのディスカッションによって理解を深めました。



卒業論文 調査研究
朦朧体からみる日本画の
転換点と発展過程
西田奈央(2023年度卒業)

明治時代に誕生した日本画では、岡倉天心の指導のもと、横山大観や菱田春草らが「朦朧体」と呼ばれる表現を追求しました。春草の作品に着目しながら朦朧体を再評価・解釈し、現代への影響をたどる意欲的な研究です。

地域の資源を編集し 新たな価値を デザインする



卒業制作「よしひさえんー「食」を用いた多目的プログラムの実践による多世代ネットワークの構築」／重山隼人(2022年度卒業)

建築・キュレーション・デザイン領域

地域デザイン

フィールドワークを通して歴史・伝統・文化などの地域特性を明らかにし、よりよい地域づくりを目指して空間・モノ・仕組みを実践的にデザイン提案します。それにより建築・キュレーション・デザインに関する知識・技術を横断的に修得し、未来の地域を創造するまちづくり専門人材になることを目指します。



高岡の魅力をオンサイトと、オンラインで発信する「高岡クラフト市場街」



プロジェクト授業 まちづくりの実践を学ぶ
吉久まちづくり
プロジェクト
よっさまんど市

伝統的な町並みや歴史文化が残る高岡市吉久を対象に、フィールドワークを通じて地域特性を解説。それを活かし、地域組織や高岡市との協働によって吉くらしい豊かな暮らしを実現するための小さなアクションを学生が主体となって企画・実践します。



プロジェクト授業 ミラレガイドツアー
ミラレ金屋町

高岡市の金屋町を舞台にして、町家や町並みの魅力を発信するイベント「ミラレ金屋町」。その一貫として、まちを巡るガイドツアーの企画・運営を住民と協働で行います。



地域連携 フィールドワーク
呉西地区の伝統工芸品調査

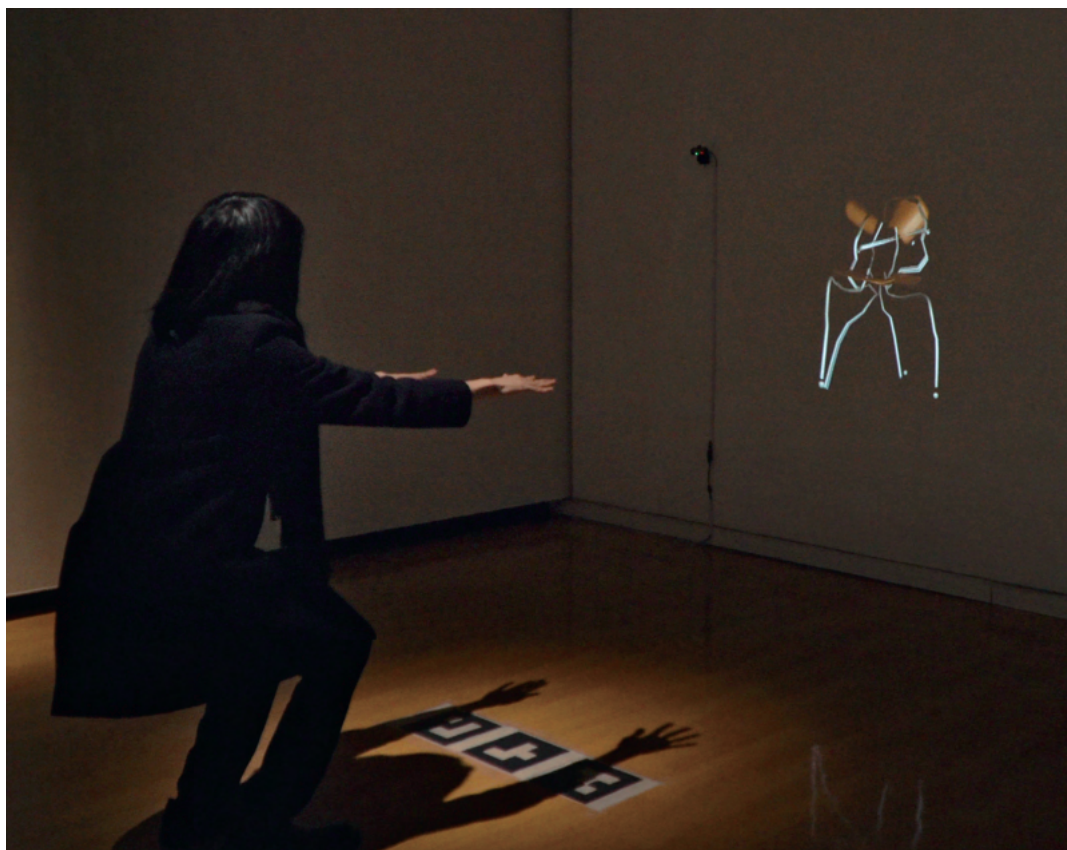
高岡銅器、高岡漆器、越中福岡の菅笠をはじめとする富山県西部の伝統工芸品について、ヒアリング、工房視察、工芸体験などを通じた実態調査を行い、報告書をまとめるとともに「新しい体験メニュー100の提案」を策定し、自治体や関係団体へ提言を行いました。



プロジェクト授業 野外美術館における展示
GEIBUNオープンエア
ミュージアムin環水公園

県の代表的な公園である富岩運河環水公園に芸文の作品を展示する期間限定の野外美術館構想。公園に隣接する富山県美術館との共催。学生や教員、OBOGも作品を出品。ワークショップや作品公開制作など多様な取り組みで地域を盛り上げます。

異なる専門性が 交わることで 生まれる新領域



卒業制作「人間椅子人間」／熊井晴明(2022年度卒業)

複合領域

メディア表現 | 芸術工学 | 情報科学
言語・身体芸術

複合領域では、芸術と科学を横断する様々な分野が
交わり、学際的な視点から、新しい芸術表現の開拓
やモノづくりの実践を行います。



人を搬送するときに休憩しやすさにも配慮した道具の研究(河原雅典研究室)



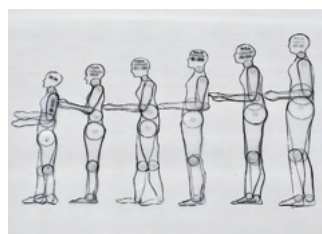
専門科目 メディア表現の授業
メディアアートの基礎技術

鑑賞者の動きや環境の変化に反応し
動作するメディアアート作品を制作
します。センサーと映像をプログラミ
ングによって連動させる仕組みを作
りながら、基礎的な回路設計や制御
技術、メディア表現の考え方などを学
びます。



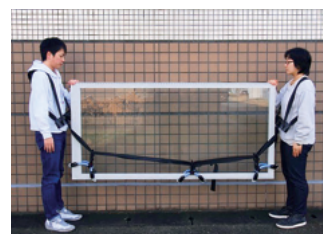
調査研究 教育プロジェクト
ハッカーズから学ぶ
芸術経営学

芸術文化活動における「セルフプロ
デュース」の可能性に着目した特別
講座を実施しました。分業傾向にあ
る「つくり手」「つなぎ手」の関係を再
考し、多様な表現活動を社会に実装
していくための経営戦略について実
践的に学びました。



専門科目 データサイエンスの授業
科学的根拠のあるデザイン

サイズのS・M・Lはどうやって決める
でしょうか?なんとなく決めていても、
うまくいきません。モノの大きさを
データに基づき統計的に決めること
で、多くの人に使いやすいモノを提供
することができます。



卒業論文 芸術工学
板ガラス加工作業の
人間工学的研究
坂本龍一(2023年度卒業)

板ガラスは大変重いのですが人力で
運搬することがさげられないもので
す。作業者が安全で楽に板ガラス運
搬作業ができるような方法を考案し
ました。楽に運べるうえに、ドアの開
け閉めなどが容易に行えるようにな
りました。

芸文だからできる 『名物授業』

芸文では様々なユニークな授業が行われています。

学内で繰り広げられる日々の授業の断片をピックアップ！

芸文の授業をどうぞご覧ください。

(授業名および授業内容はカリキュラム編成により変更となる場合があります)



名物授業



実践教育プロジェクト

もっと!!

芸文WEB「キャンパスライフ」



【美術表現A(絵画)】

デッサンやスケッチ課題を通して、アートやデザインの領域で必要となる「ものの見方と伝え方」を学びます。



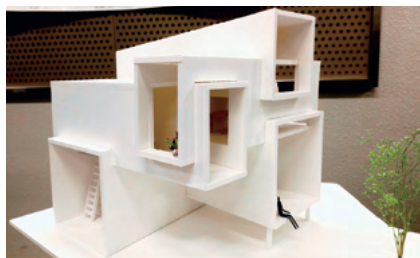
【導入I-C(DTPに関する基礎演習)】

代表的なDTPアプリケーションによるCG技能と印刷発注の方法を身につけます。課題は文庫本カバーのデザインと印刷用原稿制作です。



【美術表現B(粘土)】

油粘土を用いてりんご等の模造を行い、形をとる力、基礎的な立体感を養い、造形能力を身につける1年生対象の授業。



【空間デザインC】

空間と架構、空間構成、敷地周辺のリサーチスケッチをテーマにした課題に取り組み、設計に関わる基礎的手法、技術習得の授業です。



【まちづくり】

高岡市と連携し、高岡のまちの課題を解決したり、まちをより良くするためのまちづくり事業の提案をグループワークで行います。



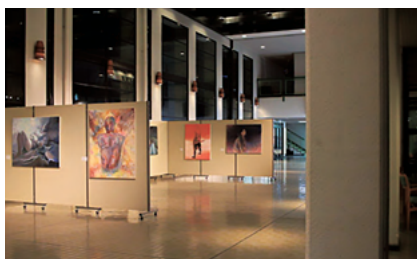
【導入II-F(伝統産業論)】

通常の伝統産業の講義に加え、実践者による講義、リサーチを使った産地調査を行い、グループワークを通じて理解を深めます。



【絵画技法・材料演習】

絵画について、その描画材と基底材について基礎的な知識と経験を得る授業です。



【絵画B】

制作課題は「人物」。身近な人をモデルに画面構成を試みます。吹き抜けのエントランスはいつも作品発表の場となっています。



【彫刻立体基礎演習】

解剖図資料や石膏模型を元に頭蓋骨をつくり、さらに肉付けをして最終的に自分の頭部の像(首像)を制作します。



【彫刻立体B(木彫)】

彫る削るといった彫刻制作で必要となるカービング技法を学びます。素材と道具の扱い方を身につけ、彫刻独自の思考法を探ります。



【工芸実習(金工)B】

この授業では、銅板を叩いて器の制作を行います。完成した作品は、プレゼンテーションカードとともに展示します。



【工芸実習(金工)E】

鑄金の伝統技法、込型鑄造で鑄物の作品を制作します。原型から鑄型制作、鑄込み、仕上げ加工の過程を通して手仕事を学びます。



【工芸実習(漆加飾)B1、B2】

数ある漆加飾法から「変わり塗り」を、実習を通して学びます。履修生相互の情報共有により、多くの技法を理解する様にしています。



【工芸実習(漆加飾)C】

螺鈿技法は貝の種類や加工方法によって多彩な表現を行うことができます。様々な加工技術を、制作を通じて学びます。



【デザイン展開(ビジュアルデザイン)】

チョコレートやボトルなどの食品パッケージデザインを題材にして、社会における実践的なデザイン手法を学ぶ授業です。



【デザインプロジェクトE(トランスポートデザイン)】

基本知識理解からコンセプト構築、発想と表現習得から応用までを著名な自動車メーカーの直接指導のもとで学ぶ、カーデザインの授業です。



【空間デザインA(シェルター)】

地元材を用いて、1坪ほどの魅力的な空間を力合わせて原寸大で制作し、建築やインテリアをつくる喜びを手と身体で学びます。



【空間デザインF(建築再生)】

実際の空き家や商店街を対象に実測やフィールドワーク等の調査を実施。その成果に基づき具体的なリノベーション提案を行います。



【風景資源論B】

この授業では、新しい観光のスタイルを学びながら、富山らしい風景を活用した観光企画をグループワークで作ります。



【キュレーション研究】

美術史、文化政策、伝統文化論、風景学などキュレーションの研究や実践に必要な知見を、文献調査や現場調査を交えながら学びます。



【博物館実習】

掛軸、工芸品、額装など各種美術作品の基本的な取り扱い方や、梱包の仕方、展示方法など、学芸員として基本の技術を実習します。



【プロジェクト授業/LIVING ART in TOYAMA】

例年、9月末に開催されるアートイベントです。芸文生が壁画制作やサポートスタッフとして運営に参加するプロジェクト授業です。



【プロジェクト授業/ミラレ金屋町】

高岡銅器発祥の地・金屋町を舞台に、町屋の魅力を発信、金屋町の住民と交流するイベント「ミラレ金屋」に参画するプロジェクト授業です。



【地域連携授業/デザインプロジェクトB(クラフトデザイン)】

外部企業から提示されるテーマに対して、芸文のユニークな発想力と、つくりながら考える実践力を組み合わせて行う地域連携授業。



【地域連携授業/デザインプロジェクトA】

3年次生を対象に、地域の企業課題を解決していく地域連携授業です。2024年度では無印良品のコミュニティスペースをデザインしました。



【プロジェクト授業/高岡クラフト市場街】

毎年、秋頃に高岡市で開催されるクラフトに関する総合イベントに企画段階から参加し、イベントコンテンツを盛り上げています。



【プロジェクト授業/吉久まちづくりプロジェクトⅠ・Ⅱ】

フィールドワークを通じて地域特性を解読し、吉久らしい暮らしの実現のための小さなアクションを地域と協働しながら実践します。

どこまでもひろがる、未来のはなし

『卒業生の活躍』

もっと!!

芸文WEB「卒業生の活躍」



芸術や美術を学んだら、みんながアーティストやデザイナーになるわけではありません。

芸文の向こう側に広がる未来を、卒業生の活動から感じてください。



人生の節目のたびに、芸文で得た学びが生き続けている

プランナー | スマシア株式会社 / 住宅事業部

山田晴可氏 | 建築領域(当時 造形建築科学コース) 2010年度卒業

私は結婚、出産、マイホームなどのライフイベントのたびに引越しを繰り返してきたので、そのたびに転職をしてきました。転職先を考えるときには、大学で楽しかった講義や、大学で得た知識を活かせる仕事は何かを考えるようにしていました。今はプランナーの仕事をしていますが以前は不動産関係や林業の仕事をしていたりもしました。大学の講義で学んだCAD図面の書き方はもちろん、大学のときに使っていた製図道具は今でも仕事で重宝しています。



専門や立場を越えた学びと交流が、今の自分の視野を広げた

漫画家、イラストレーター | 自営業

nifuni氏 | 工芸領域(当時 デザイン工芸コース) 2008年度卒業

自分の専門だけでなく他領域の授業を受けたり交流ができる環境がありがたかったです。日常的に集まってわいわいと過ごし、時には先生や先輩方も交ざって熱く語り合ったり…といった時間を過ごせたことが今の自分の糧となっていると感じます。また、課外活動として地域の方々との交流を伴った企画やプロジェクトなどがあったことも印象的でした。街の大人たちと近い距離で話ができただけでも視野を広げる良い経験になったと思います。



座学と実技を分けない学びが、わたしの知見を広げてくれた

総務、学芸員 | 日機装株式会社 金沢製作所 / 総務部(公益財団法人 宗桂会)

田村早紀氏 | キュレーション領域(当時 文化マネジメントコース) 2014年度卒業

現在、伝統工芸・加賀象嵌の普及や後継者育成等を行っていますが、大学時代は文化政策等を中心に学んでおり、工芸は専攻領域ではありませんでした。しかし、領域の垣根を越えて実技系などの様々な授業を受講できたことが、現在の仕事にも役立っていると強く感じます。文化マネジメント以外の幅広い分野にも触れたことで知見が広がり、展示会の企画や、機関誌の編集など、テーマやアイデアを考える際に活かされています。



学びの幅があったからこそ、今の進路へ舵を切れた

デザインリサーチャー、プランナー | KAKKO E 合同会社

山口歩那氏 | 複合領域(当時 デザイン情報コース) 2012年度卒業

情報科学芸術大学院大学メディア表現研究科メディア表現領域へ進学 2014年度修了

専攻分野に限らず様々な講義を受けられたことが今の仕事に繋がっています。入学時はグラフィックデザイナーを目指していましたが、フィジカルコンピューティングに目覚め、その方向で他大学へ院進し起業に至りました。芸文の領域の柔軟さがなければこの舵きりは出来なかったと思います。また、プログラミングや人間工学、教育学など幅広く学べたおかげで、自分の引き出しを増やすことができ、仕事での多角的なアプローチに活かされています。



作家となった今でも、刃物を研ぐたびにあの頃を思い出す

漆職人 | 守田漆器株式会社(工房静寛)

森田志宝氏 | 工芸領域(当時 造形芸術コース) 2012年度卒業

大学院(当時 芸術文化科学研究科) 2015年度修了

授業では漆工芸の実技課題が力になりました。職人の仕事に就くきっかけも、院生の時に学部授業のアシスタントをして、改めて漆の工程に向き合ったことが大きかったです。今でも刃物の研ぎをしていると授業を思い出します。あの頃よりは少しまともに研げるようになり、時の流れを感じます。授業以外では、自分の作品を制作してグループ展や個展・公募展等で発表していました。その経験を活かして現在も作家活動を続けています。



大学でのプレゼン経験が、製品販売に必要な「言語化」に役立つ

管理職、家具販売 | 株式会社ミヤモト家具 / 本店営業部

杉本涼氏 | 工芸領域(当時 デザイン工芸コース) 2010年度卒業

家具の販売というのは、製品の造りの良さやデザインのこだわり等を「言語化」してお客様に伝えることが必要になります。その点において、木工を中心に、家具作りとデザインを4年間学べたことは今の仕事において大きな糧となっています。またミヤモト家具は自社で製品の写真撮影からカタログ作成まで行っているため、学生時代の製品プレゼン作成の経験も非常に活きていると感じています。



趣味が仕事につながることもある。食欲にトライ&エラーを！

作品の周遊企画造成、制作補助 | NPO法人越後妻有里山協働機構

長津晴菜氏 | キュレーション領域(当時 地域キュレーション) 2021年度卒業

地域と密接に関わる機会があったり、独創的な発想に刺激をもらったりしながら高岡で過ごしたことは、私にとって一生ものの時間でした。趣味が仕事に繋がることがあるように、学内外問わず興味のあることに食欲にトライ&エラーを重ねて、自分だけのスタイルを見つけていってください。また、私は在学時からの知人たちと今も交流が続いていることも財産だと感じています。高岡での縁がみなさんの糧になりますよう応援しています！



制作に没頭し「これだけの作品を完成させられる」と心から思えた

造形作家

川越ゆりえ氏 | 美術領域(当時 造形芸術コース) 2010年度卒業

大学院(当時 芸術文化学専攻) 2012年度修了

芸術文化学部は、作品制作にじっくり取り組める環境である事が本当に素晴らしいです。作品制作に対する持続力の基礎は画塾で作られましたが、芸術文化学部の4年間でその力がより確かなものになったと感じました。修了制作は、小さな立体作品をおよそ200個作って画面内に貼り付ける形の作品でしたが、それを通して「自分はこれだけの作品を完成させられる」と心から思えた事は今でも大きな自信となっています。



選り続けられる環境が、「何が最善か」を考える力を育てる

焙煎士 | 珈琲舎 蘭豆

越村日奈子氏 | デザイン領域(当時 デザイン情報コース) 2018年度卒業

芸文には、授業としても課外活動としても選択肢がたくさんあります。しかもその多くは、社会に出た後だとなかなかできない経験だったり、状況的に選りにくかったりするものです。そういう貴重な選択肢を「選べる」ということ自体もそうですが、作品をよりよくするために何を選ぶか、これから自分は何をしていきたいかなど、身近な選択肢の中でも能動的に選り続ける必要がある環境は、芸文ならではの環境だと思います。だからこそ、社会に出ても仕事や日常の中で「何が最善か」を常に考えるための基礎ができたと感じています。



実践的に手を動かす授業体験が、プロの現場につながる

建築技術(建築施工管理) | 株式会社竹中工務店 / 大阪本店作業所

田中聡一氏 | 建築領域(当時 建築デザインコース) 2019年度卒業

キャンパスや街全体をフィールドとした実践的で自らの手を動かす学習が現在の仕事にも活かしています。特に1班5名程で設計・施工・解体までを一貫して取り組んだシェルターの授業や、古民家をリノベーションした授業では、設計段階で施工時の検討ができておらず、手順や納まりに悩むことが多々ありました。現在は施工管理者として作業員に指示を出す立場ですが、つくる場面をイメージすることの重要性を芸文で学べたと感じます。

芸文の就職率

100%!

(2024年度実績)

毎年90%を超える就職率を誇ります

主な就職先(2024年度卒業生)

ウッドリンク、カンイ、キョウデン、クロマテック、国立印刷局東京工場、米三、サクラバックス、スギノマシン、助野、大豊工業、ダイハツ工業、多久製作所、第一、福島印刷、北陸化成工業所、マイホームサービス、マルゲン、丸東産業、ミヤモリ、アーキテックス、エーシーエ設計、株木建設、竹中工務店、日本空調北陸、フジヤ、みやび建築工房、米田木材、三菱地所コミュニティ、広和、クジラ、リログループ、アークベル、いのちのこば社、誠勝、新潟県商工会連合会、ゆう工房、SUPER STATE HOLDINGS、ピーイーエフ、Flavor(Re:CENO)、yell、カイトテクノロジー、シーシーエス、セラク、ソフト、ハーツシステム、マーブル、ユーコム、リンクス、アパホテル、神戸ポートピアホテル、シーアンドエス、アインホールディングス、ケイ・ウノ、ゲンキ、古城モーターズ、コメリ、タルイシ、ニトリ、ブルーブルーエジャパン、ペイクルズ、ユニバーサル園芸社、ローソン、国立病院機構東海北陸グループ、富山銀行、群馬銀行、上越信用金庫、福井県農業協同組合中央会、経済産業省特許庁、富山地方検察庁、岡山県庁、山形県庁、佐久市役所、滑川市役所、むつ市役所

主な進学先(2024年度卒業生)

富山大学大学院人文社会芸術総合研究科、京都市立芸術大学大学院美術研究科、神戸大学大学院人文科学研究科、福井大学大学院工学研究科、京都府立陶工高等技術専門学校、東京ビジュアルアーツアカデミー



カペラゴードン美術工芸学校 スウェーデン王国

カペラゴードン美術工芸学校は、木工、織・染色、陶芸、演芸の4コースがあり、優れたつくり手と豊かなつかい手の育成を目指しています。美しい工房と宿舎での生活が、豊かな暮らしをすることの意味を問いかける学校です。



芸文とつながる世界へ行こう！ 『国際交流・留学』



プラハ美術工芸大学 チェコ共和国

プラハ美術工芸大学は1885年に創立。チェコ共和国内の芸術系大学の中でも最も歴史のある大学であり、建築、デザイン、芸術、応用芸術、グラフィック、美術史美学などの学部を擁しています。ガラス芸術をはじめとする東ヨーロッパの優れた芸術を学ぶことができます。





LAB応用科学大学 フィンランド共和国

LAB応用科学大学(旧ラハティ応用科学大学、統合により2020年から大学名変更)は、前身であるラハティ・ポリテクニック(職能大学)時代から実学に重きを置いた教育を展開しています。デザイン学部においても、企業との産学協同プロジェクトをはじめ、実践力を身につける教育プログラムが組まれています。



Sweden
Finland

Czech

Thailand

Japan

もっと!!

芸文WEB「国際交流・留学」



パタナシン芸術大学 タイ王国

タイ王国パタナシン芸術大学は、美術、工芸、デザイン、建築、舞踊、音楽といった幅広い教育を行っています。タイの伝統的な絵画、漆工芸、建築はもとより、現代的な感性が融合することで、アートやデザインのダイナミックな流れを肌で感じ、学ぶことができます。



『大学院』

人文社会芸術総合研究科

新たな価値、文化、社会を創る



専門科目「課題研究Ⅱ」の実技風景

修士課程 修士(芸術文化学)

人文社会芸術総合専攻

人文・芸術プログラム〈芸術文化学系〉

幅広い分野の基盤的能力を有し、芸術に関わる諸分野についての高度な専門的学識、高い倫理観と豊かな創造力、領域を横断した複眼的視野を備えた、新たな価値、文化、社会を創ることができる人材を養成します。多彩な専門領域の教授陣が、実践と理論を兼ね備えたカリキュラムで万全の研究サポートを行います。



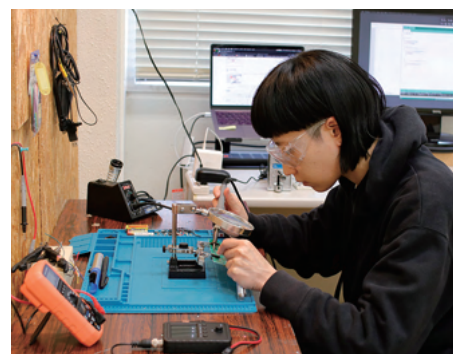
修了制作「ロウト -ポップアップストアの作法-」／寺島大貴(2018年度修了)

人材養成目的

文化的多様性の深い理解に基づき「人」と「地」の健康を実現する高度専門家養成機関として、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とします。

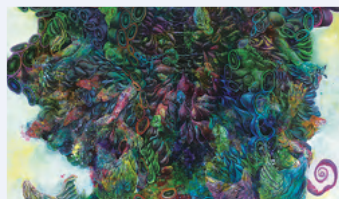
現代社会に求められるスキル教育の展開

研究科の共通科目として、人間の本质に関わるテーマ、現代社会的テーマ、地域に関わるテーマを取り上げた授業や、問題解決・分析方法に関わるスキルを学修する授業を設定し、幅広い知識と複眼的視点、現代社会で求められる分析手法などを身につけます。



人文・芸術プログラム〈芸術文化学系〉の特徴

大学院全体を通して展開される「大学院共通科目」及び人文社会芸術総合研究科を横断する「研究科共通科目」を基礎に、「プログラム専門科目」として、主に「造形表現」「工芸」「建築・デザイン」「芸術文化論」の研究領域を設けています。これらの芸術文化科目群によって、学生の目標に応じた教育をすすめ、高度専門職業人の養成を担います。



【造形表現】

絵画、立体造形及びメディアアート制作など、人類が古より現代に至るまでに展開してきた多様な芸術的表現を対象とします。その表現技術の修得と高度化、ならびにそうした表現手法の横断的な展開をベースにした造形表現学、造形技術論に関わる総合的かつ専門的な見地と、論理性に基づく創造的な能力の開発・展開へと導く専門的研究を実施します。



【工芸】

金属、漆、木材等の材料に係る工芸技術をより深く修得し、さらに我が国固有の伝統的な技術や歴史に育まれた感性を創造的な活動や工芸文化の発展・継承に結び付けられる高い技能と見識を養成します。工芸技術がもつ、素材、用途、美的感性、造形感覚、加工技術、様式、独自性をバランスよく修得し、そのうえで自らのアイデンティティを核として世界に通用する価値の創出に関わる専門的研究を実施します。



【建築・デザイン】

人間を取り巻く環境に対して、芸術及び文化という観点から考察を行い、地域の抱えている問題に対して実践的に取り組み、国際的な視座に立ち解決を図る能力を養成します。多様なデザイン表現力、生活環境としてのデザイン・建築・まちづくりの総合的な企画調整力、伝統文化の再生や地域創生、クリエイティブな産業に関わる専門的研究を実施します。



【芸術文化論】

美術・工芸・デザインという表現技法や芸術学・美学という芸術文化に関する基本的学識に加え、建築学、伝統造形、伝統芸能などの歴史的文化等に関する見識を深めることで、多様な視点と歴史的・地域的な固有の視点を併せ持った能力を養成します。普遍的な価値観、伝統文化を起点とした地域の芸術文化理論に関わる専門的研究を実施します。

修了後に想定される主な進路

就職	進学
アーティスト、デザイナー、文化財修復士、民間企業社員(建築士等)、学芸員、地方自治体・行政機関職員	芸術系博士課程進学

募集人員

専攻	プログラム名	区分	入試区分	募集人員
人文社会芸術総合専攻	人文・芸術プログラム	芸術文化学系※1	一般入試	18名※2
		人文科学系	社会人特別入試 外国人留学生特別入試 外国人留学生特別入試(指定校推薦)	若干名※3

※1 「芸術文化学系」と「人文科学系」は、異なる選抜方法を実施します。

※2 一般入試の募集人員18名は、芸術文化学系と人文科学系の両区分を合わせた人数です。

※3 社会人特別入試、外国人留学生特別入試の募集人員は、一般入試の募集人員に含まれます。

入学者選抜方法

専攻	プログラム名	区分	入試区分	口述試験
人文社会芸術総合専攻	人文・芸術プログラム	芸術文化学系	一般入試	入学者の選抜は、口述試験及び提出された書類により行います。口述試験では、研究計画・志望理由書等と作品(持ち込みがあった場合)に基づき、研究目的・計画等の明確さ、研究能力・作品制作能力及びコミュニケーション能力等を評価します。
			社会人特別入試	
			外国人留学生特別入試	

● 詳細については「学生募集要項」を参照してください。

● 入学者選抜試験に関する情報、資料請求方法については、人文社会芸術総合研究科Webサイトで提供していますので、ご利用ください。

● 大学院(人文社会芸術総合研究科)入試に関する問い合わせ先

芸術文化学部(大学院入試担当) TEL. 0766-25-9130

※「入試に関する問合せ」は、原則として志願者本人が行ってください。

もっと!!

人文社会芸術総合研究科WEB





『教員紹介』

バラエティーに富んだ教授陣

有田 行男 准教授

デザインマネジメント、コミュニケーションデザイン、プロダクトデザイン

小川 太郎 講師

漆芸

小南 菜子 助教

プロダクトデザイン、障害とデザイン

有原 千尋 助教

文化政策学、アートマネジメント

沖 和宏 教授【芸術文化学部長】

視覚伝達デザイン

佐藤 弘隆 助教

メディアアート、デジタルアート

伊東 多佳子 准教授

美学、芸術哲学、環境美学、環境芸術論

奥 敬一 教授

風景計画学、観光資源論、里山学

三宮 千佳 准教授

東洋美術史、日本美術史(古代～中世)、博物館学

今淵 純子 准教授

鍛金・彫金工芸に関する研究

小田 夕香理 准教授

英文学

島添 貴美子 教授

民族音楽学、民俗芸能研究、伝統文化論

上原 雄史 教授

建築意匠、建築設計、アーバンイズム

小畑 俊介 助教

建築史

清水 克朗 教授

美術鑄造

内田 和美 教授

プロダクトデザイン、トランスポートデザイン

河原 雅典 教授

人間工学、働態学

新谷 仁美 講師

漆芸、文化財修復

岡本 知久 講師

広告コミュニケーションデザイン、ブランディングデザイン、タイポグラフィデザイン、タイプ(フォント)デザイン、エディトリアルデザイン

小泉 巧 助教

漆工芸

須田 久美子 講師

英文学、英語教育関連分野



田邊 元 講師

スポーツ人類学、文化人類学

藤川 拓馬 助教

木工デザイン、木工文化、木育学

藪谷 祐介 講師

コミュニティデザイン、建築計画

長柄 毅一 教授

金属材料学、金属材料加工学、文化財科学

藤田 徹也 准教授

情報処理

幸 亮太 講師

日本画

長岡 大樹 助教

芸術理論

堀田 光彦 助教

金属工芸

横山 天心 准教授

建築意匠

長田 堅二郎 講師

現代造形芸術、現代美術、立体造形

松田 愛 准教授

西洋美術史、近現代美術論、アートマネジメント

渡邊 雅志 准教授

プロダクトデザイン、木材造形

西島 治樹 教授

美術(メディアアート)

松村 浩之 准教授

油画

萩野 紀一郎 准教授

建築設計・保存・再生、インテリアデザイン、デザイン/ビルド

村田 聡 教授

石油化学、触媒化学

平田 昌輝 講師

彫刻、塑造

安嶋 是晴 准教授

文化政策論、伝統産業論、地域経営論

もっと!!

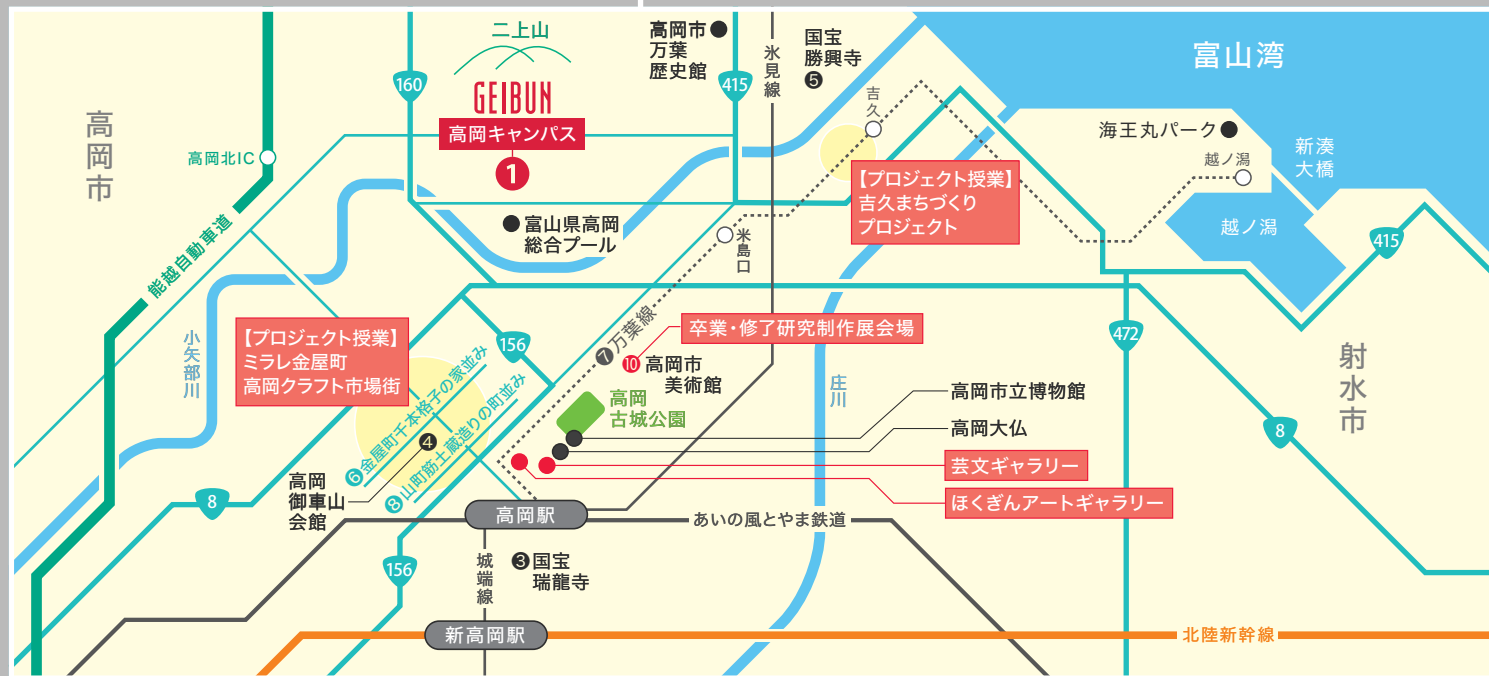
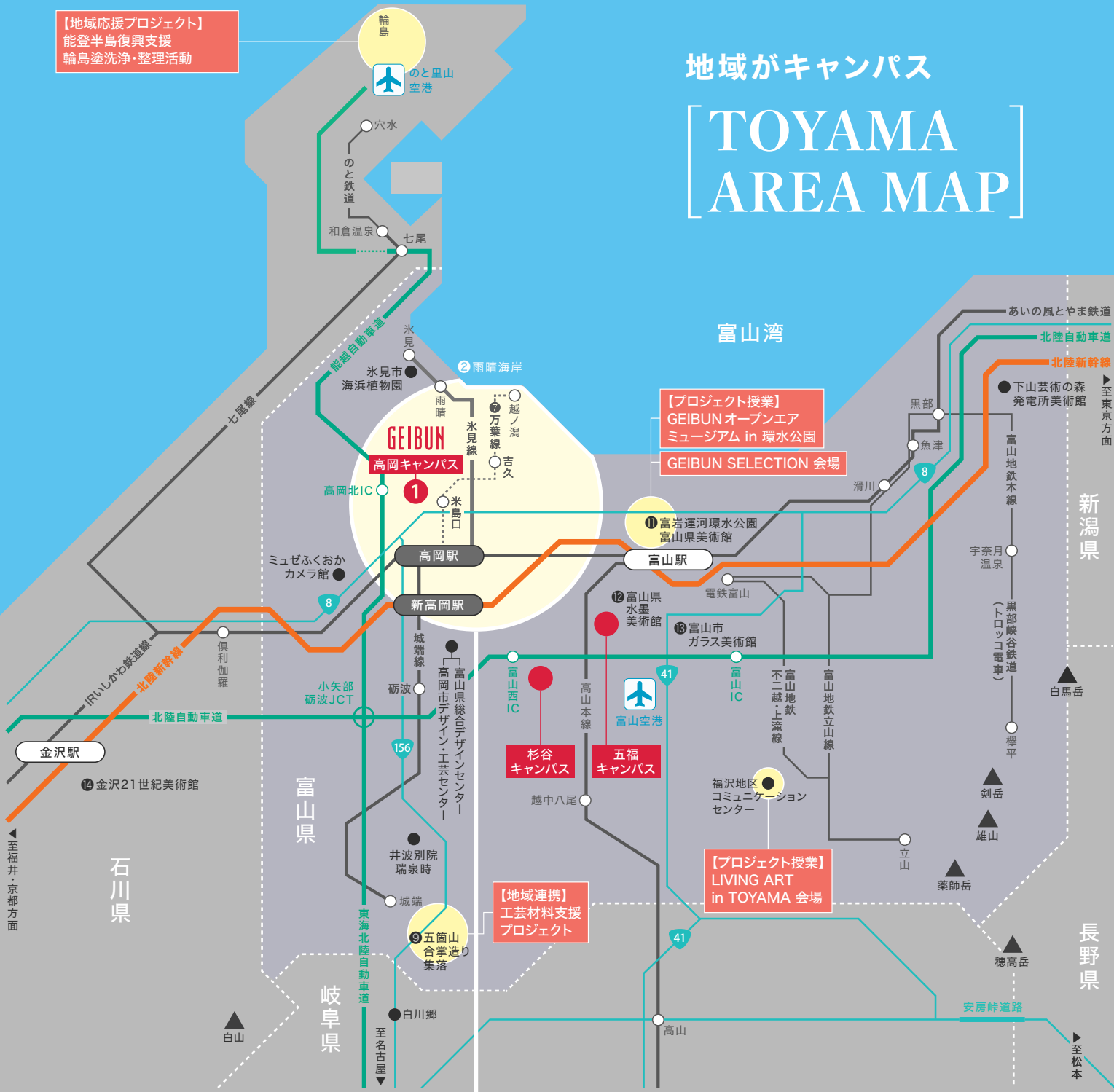
芸文WEB「教員紹介」



【地域応援プロジェクト】
能登半島復興支援
輪島塗洗浄・整理活動

地域がキャンパス

TOYAMA AREA MAP





① 富山大学芸術文化学部(高岡キャンパス)



② 雨晴海岸から見た立山連峰



③ 国宝 瑞龍寺



④ ユネスコ無形文化遺産 高岡御車山祭



⑤ 国宝 勝興寺



⑥ 重要伝統的建造物群保存地区
金屋町千本格子の家並み



⑦ 市内を走るライトレール 万葉線 アイトラム



⑧ 重要伝統的建造物群保存地区
山町筋土蔵造りの町並み



⑨ 世界遺産 五箇山合掌造り集落



⑩ 高岡市美術館



⑪ 富山県美術館と富岩運河環水公園



⑫ 富山県水墨美術館



⑬ 富山市ガラス美術館



⑭ 金沢21世紀美術館

アクセス



●詳しくはホームページでご確認ください。

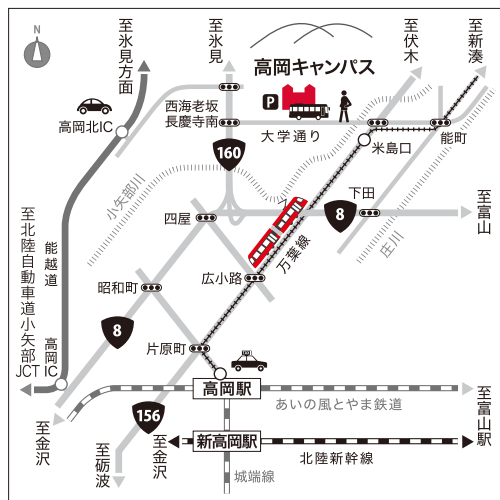
【東京から】・羽田空港から富山空港へ(約1時間)
・北陸新幹線でJR富山駅へ(約2時間10分)

【大阪から】・JR大阪駅からJR敦賀駅へ
北陸新幹線に乗り換え(約3時間)
・名神高速道路～北陸自動車道～富山I.C.

【名古屋から】・JR名古屋駅からJR敦賀駅へ
北陸新幹線に乗り換え(約3時間20分)
・名神高速道路～東海北陸自動車道～
北陸自動車道～富山I.C.

【北海道から】・新千歳空港から富山空港へ
(約1時間30分)

高岡キャンパス



【新高岡駅(高岡駅経由)から高岡キャンパスへ】

[新高岡駅から]・JR城端線:高岡駅下車(約3分)
・路線バス:高岡駅下車
(1番乗り場, 約10分)

[高岡駅から]・万葉線:「米島口」下車(約20分)
そこから徒歩(約20分)
・路線バス:「富大高岡循環線」(4番乗り場),
「富山大学高岡キャンパス」下車(約20分)

五福キャンパス & 杉谷キャンパス



【富山駅前から五福キャンパスへ】

・市内電車:「富山大学前」行き、「富山大学前」下車(約15分)
・路線バス:「富山大学経由」(4番乗り場),
「富山大学前」下車(約20分)

【富山駅前から杉谷キャンパスへ】

・路線バス:「富山大学附属病院循環」(4番乗り場),
「富山大学附属病院」下車(約30分)



Live & Learn in Toyama. 表紙写真:「紅葉に彩られた創造の場(高岡キャンパス)」 撮影:イナガキヤスト



GEIBUN

富山大学 芸術文化学部

〒933-8588 富山県高岡市二上町180番地 Tel. 0766-25-9111 E-mail info@tad.u-toyama.ac.jp



URL <https://www.tad.u-toyama.ac.jp/>

@geibun_kouhou

tomidai_geibun

f GEIBUN

2026.04

※掲載情報は2026年4月現在のものです。最新情報はWebサイトにてご確認ください。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。